

<日商簿記1級商業簿記ミニテスト25>企業結合

次の場合のC社における株式移転を行った日の仕訳を示しなさい。

- (1) A社とB社は株式移転を行い、完全親会社Cホールディング社を設立した。取得企業は交換比率の高い方である。
- (2) 交換比率は0.8であり、A社の株主にはA社株式1株あたりC社株式1株が、B社の株主にはB社株式1株あたりC社株式0.8株が交付された。なお、A社およびB社の発行済株式総数はそれぞれ1,000株および600株であった。
- (3) 株式交換日におけるA社の株価は1,500円、B社の株価は1,200円であった。
- (4) 増加する払込資本は60%資本金、残りを資本準備金とする。
- (5) A社の資産（簿価3,000,000円、時価3,200,000円）、負債（簿価2,000,000円、時価2,000,000円）
B社の資産（簿価2,000,000円、時価2,200,000円）、負債（簿価1,200,000円、時価1,200,000円）であった。

<解答>

借方科目は会社名を使用のこと

科目	金額	科目	金額
A社株式	1,000,000	資本金	1,032,000
B社株式	720,000	資本準備金	688,000

↑
C社がもらった株式
↑
C社が発行した株式